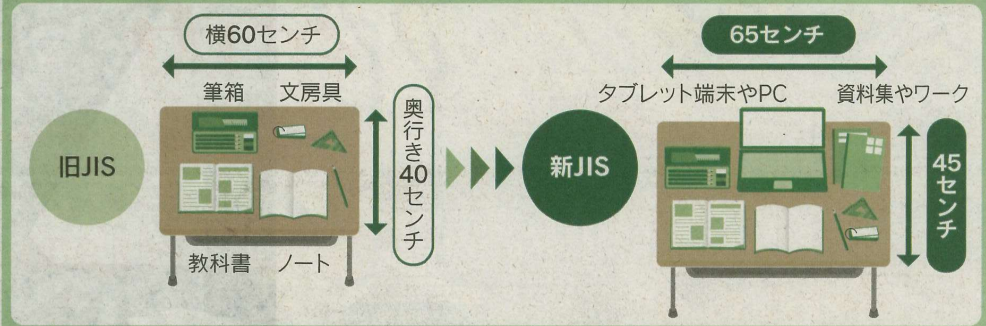


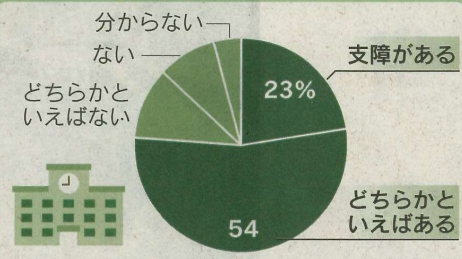


### 学校机は置くものが増え、大きくなっている



旧JISの机を使う学校の約8割が  
支障があると回答 (ICT利用時)

それぞれに課題はある



- 机が小さいと...
  - ▶タブレット端末やPC、教材が置きにくい
  - ▶教材が開きにくい
  - ▶モノを落としやすい
- 机が大きいと...
  - ▶教室の通路が狭くなる
  - ▶児童が転びやすくなる

小中学校で机の天板を大きくする動きが広がっている。タブレット端末などを使う授業が増え、従来の机だと教材を置くスペースが足りないためだ。教育現場を取材してみた。

# 大きくなる学校机

## ※天板の面積2割増、教材落としにくく



天板拡張くんを付けた机は奥行きが長くなる (12月、東京都渋谷区の千駄谷小学校)

約2割増だ。国立教育政策研究所文教施設調査センターの調査(公立の小中学校335校が回答)によると、2020年9月時点で新JISの机を使っている学校は5割強と、旧JISを使っている学校(45%)を上回る。すべての学校が厳密に

高森瑛丞さんに最も教材が多  
い社会科の授業中の机の上を  
再現してもらったと、従来の机  
では今にもどれかが落ちてし  
まいそうな量だ。拡張ツール  
があると、「また鉛筆が落ちた  
」というのがなくなり集中  
力が途切れない高森さん。  
同級生の宗像寧々さんも「昔  
はテスト用紙を折り曲げてい  
たけれど、今はそのまま広げ  
られる」と笑顔で話す。

学校机のサイズが決まった  
のは1952年。旧JIS(日  
本産業規格)で天板は横60センチ、  
奥行き40センチと定められた。98  
年から99年の学習指導要領の  
改訂を機に、教科書のサイズ  
も大きくなった。これに伴い、  
新JISで標準の目安とされる  
サイズは横65センチ、奥行き45  
センチに拡大した。面積にする

約2割増だ。国立教育政策  
研究所文教施設  
調査センターの  
調査(公立の小  
中学校335校  
が回答)による  
と、2020年  
9月時点で新J  
ISの机を使っ  
ている学校は5  
割強と、旧JIS  
を使っている  
学校(45%)を  
上回る。すべて  
の学校が厳密に

椅子も取り換え、キャスタ  
ー付のオフィスチェアを導入  
した。高さも調節できる  
ほか、座面も回転する。「児  
童同士が積極的に意見を交わ  
しやすくなった」と副校長の  
横塚は続けた。

一方、机が大きくなるにつ  
れ課題も浮上している。教室  
の通路が狭くなるため、児童  
が机にぶつかって転ぶといっ  
たことが起きやすい。千葉工  
業大学創造工学部の教授、橋  
本都子さんは「災害が起きた  
時に避難経路を確保できる  
か、転ばないかを確認してか  
ら机のサイズを決めた方がよ  
い」と指摘する。

学校の教室の多くは横8  
尺、縦8尺(64平方尺)の広  
さ。1クラス35人としても机  
を大きくし過ぎると、先生が  
教室を周って指導するのが難  
しくなる。コロナ禍が一服し  
ても机同士を離れたままにす  
る学校も比較的多く、これも  
教室の狭さに拍車をかける。  
千駄谷小学校が採用したよ  
うな着脱式の拡張ツールが着  
目されている背景には、こう  
した事情もある。天板ごと取  
り換えるのに比べ、コストも  
抑えられる。文具大手コクヨ  
も奥行きを5センチ長くする「つ  
くえ+」を販売している。

教育現場ではデジタル教科  
書の導入が進んでいる。普及  
すれば紙の教科書が減るため、  
机の天板を大きくする必  
要性は薄れるかもしれない。  
一方、大きい方がストレスを  
感じにくく、快適に勉強でき  
るといふ児童もいる。どの程  
度の大きさがベストなのか。  
模索は続きそうだ。

12月、渋谷区立千駄谷小学  
校(東京・渋谷)。6年生の  
国語の授業をのぞくと、児童  
は紙の教材で説明文を読ん  
で、タブレット端末で感想を  
打ち込んでいた。その感想は  
前方のモニターに映し出され  
た。記者(24)の小学校時代  
とは様変わりした授業風景だ。  
児童の机に目を向けると、  
天板を大きくする着脱式の拡  
張ツールを取り付けられてい  
た。同校が全クラスで導入し  
たのは学校用品などを手かけ  
る内田洋行の「天板拡張く  
ん」。奥行きを10センチ長くす  
ることができる。モノを落とし  
にくいように前方と左右に落  
下防止ガードが付いている。  
歴史や政治・国際の教科書、  
資料集、ノート、文房具、タ  
ブレット端末……。6年生の  
約2割増だ。

高森瑛丞さんに最も教材が多  
い社会科の授業中の机の上を  
再現してもらったと、従来の机  
では今にもどれかが落ちてし  
まいそうな量だ。拡張ツール  
があると、「また鉛筆が落ちた  
」というのがなくなり集中  
力が途切れない高森さん。  
同級生の宗像寧々さんも「昔  
はテスト用紙を折り曲げてい  
たけれど、今はそのまま広げ  
られる」と笑顔で話す。

学校机のサイズが決まった  
のは1952年。旧JIS(日  
本産業規格)で天板は横60センチ、  
奥行き40センチと定められた。98  
年から99年の学習指導要領の  
改訂を機に、教科書のサイズ  
も大きくなった。これに伴い、  
新JISで標準の目安とされる  
サイズは横65センチ、奥行き45  
センチに拡大した。面積にする

約2割増だ。国立教育政策  
研究所文教施設  
調査センターの  
調査(公立の小  
中学校335校  
が回答)による  
と、2020年  
9月時点で新J  
ISの机を使っ  
ている学校は5  
割強と、旧JIS  
を使っている  
学校(45%)を  
上回る。すべて  
の学校が厳密に

桑名良幸さんは指摘する。同  
校は25年にはタブレット端末  
とPCの1人2台持ちを計画  
している(5年生以上)。

一方、机が大きくなるにつ  
れ課題も浮上している。教室  
の通路が狭くなるため、児童  
が机にぶつかって転ぶといっ  
たことが起きやすい。千葉工  
業大学創造工学部の教授、橋  
本都子さんは「災害が起きた  
時に避難経路を確保できる  
か、転ばないかを確認してか  
ら机のサイズを決めた方がよ  
い」と指摘する。

学校の教室の多くは横8  
尺、縦8尺(64平方尺)の広  
さ。1クラス35人としても机  
を大きくし過ぎると、先生が  
教室を周って指導するのが難  
しくなる。コロナ禍が一服し  
ても机同士を離れたままにす  
る学校も比較的多く、これも  
教室の狭さに拍車をかける。  
千駄谷小学校が採用したよ  
うな着脱式の拡張ツールが着  
目されている背景には、こう  
した事情もある。天板ごと取  
り換えるのに比べ、コストも  
抑えられる。文具大手コクヨ  
も奥行きを5センチ長くする「つ  
くえ+」を販売している。

教育現場ではデジタル教科  
書の導入が進んでいる。普及  
すれば紙の教科書が減るため、  
机の天板を大きくする必  
要性は薄れるかもしれない。  
一方、大きい方がストレスを  
感じにくく、快適に勉強でき  
るといふ児童もいる。どの程  
度の大きさがベストなのか。  
模索は続きそうだ。